

「ぼくたちの地球を守ろう」 第14回アジアこども会議



会議の前に「地球こどもクラブ讃歌」合唱

- ◆日 時 : 2007年7月26日(木) 15時10分～17時45分
- ◆会 場 : 霞が関東京會館(エメラルドルーム)
東京都千代田区3-2-5 霞が関ビル35階
- ◆会議参加者 : コンクール受賞者
- ◆内 容 : こどもによる会議
環境に関するテーマについてグループごとに話し合い、その成果を発表し、最後に「こどもアジェンダ21」宣言書としてまとめ、環境省田村事務次官に提出
- ◆会議のテーマ : 「あなたがお父さんお母さんになった時、どんな地球であってほしいか？」
「その理想の地球のためにあなたができることは何か？」
- ◆司会進行 : 上智大学 荒川 祐二氏、東京農工大学 石川 世太氏
- ◆プログラム :
高円宮憲仁親王妃久子殿下ご入場
主催者代表挨拶 <地球こどもクラブ 中江利忠東京大会実行委員長>
地球こどもクラブ讃歌合唱 <演奏: チェレスタ 地球こどもクラブ 森ミドリ理事>
特別講演 <コスモ石油株式会社 鶴田穂積CSR・環境室長>
テーマ「植物の二酸化炭素吸収実験」「環境危険ゾーン地球儀」について
基調講演及びディスカッション <上智大学 荒川祐二氏>
テーマ「あなたがお父さんお母さんになった時、どんな地球であってほしいか？」
「その理想の地球のためにあなたができることは何か？」
セヴァン・スズキ伝説のスピーチ上映
各グループ発表
「こどもアジェンダ21」宣言書、とりまとめ及び署名
環境省田村義雄事務次官へ「こどもアジェンダ21」宣言書を子供たちより手渡す
高円宮憲仁親王妃久子殿下ご退席

「ぼくたちの地球を守ろう」 第14回アジアこども会議内容

■特別講演：コスモ石油株式会社 鶴田穂積CSR・環境室長

「植物の二酸化炭素吸収実験」と「環境危険ゾーン地球儀」について



〈植物の二酸化炭素吸収実験〉

植物が二酸化炭素を吸収し、酸素を排出する様子をリアルタイムで体験できる装置。地球温暖化を防ぐために、植物がいかに大切か大事かということを理解し、体験してもらう。

ドームの中に入っている植物に光を当てると、この中の二酸化炭素の量が減り、酸素が増えていく炭酸同化作用、光合成の働きを始める。



〈環境危険ゾーン地球儀〉

地球温暖化の影響で、自然環境に変化や異変が起きている。この問題を危険ゾーンとして一つの地球儀にまとめた。熱帯雨林が徐々に破壊されている所や砂漠化が進行している所などを地球全体に渡ってスポットごとに色分けし、示している。

■基調講演：上智大学 荒川 祐二氏

「1人のチカラは決して小さくない！」
「みんなでちょっと動けば世界が変わる！！」



毎朝6時から、新宿駅東口広場の清掃をしている荒川氏

以下、荒川氏の話（要旨）

「自分が動けば世界が変わる」、あるドキュメンタリー映画からメッセージを受け、「自分にも何かできないか?」と思い、新宿駅東口広場の掃除を始めました。「一緒に掃除してくれる人募集!!」という看板を背負いながら始めた1人での活動は、文句を言われたり、嫌がらせをされたりと、本当に辛い体験もしました。しかし、少しずつ周囲の人々の心を動かし、感謝の言葉をかけてくれる人や手伝ってくれる人が増えてきました。嬉しくてずっと続けていたら、大きな大きな輪が広がりました。ついには40人以上の仲間が増えたのです。たった1人からでもこんなことができるんです。

本日伝えたいことは、直接環境に関係がなくても、例えば「笑顔で一日過ごす」など、自分が続けていると周りも笑顔になり、そのまた周りも笑顔になる。気づいたら自分の人生も笑顔で幸せになっているし、周りの環境も幸せになっているという連鎖、「誰にでもできることを誰にもできないほどすれば、人生が、そして世界が変わる」ということです。1人の力は決して小さくないんです。

理想とする地球は、「みんなが笑顔になれる地球」。そのために自分ができることは、これからもゴミ拾いを続け、世界中に笑顔の輪を広げていくことです。

■ディスカッション 司会進行：上智大学 荒川 祐二氏、東京農工大学 石川 世太氏

テーマ「あなたがお父さんお母さんになった時、どんな地球であってほしいか？」
「その理想の地球のためにあなたができることは何か？」

テーブルごとに5つのグループに分かれ話し合い、テーマについてボード（ポスターコンクールで高円宮賞を受賞したラッカット・タポーンさんの作品が中央にプリントしてある）に一人ずつ思いや考えを記入し、その成果をグループごとに一人ずつ全体に発表しました。最後に「こどもアジェンダ 21」宣言書としてまとめ、代表者が環境省田村事務次官に手渡しました。

各グループには通訳者の他に、※学生スタッフが2人ずつ入り、コーディネーターとして子供たちに笑顔と活気を与えてくれました。

※学生スタッフ：荒川氏、石川氏の思いや考えに賛同し、全国から集まったボランティアの大学生計15名



崎津 舞香（日 本）

私の理想の地球は、世界の人々が全員環境のことを考えながら生活している地球です。そうするためには、ここにいる人達は常に環境のことを考えて、ポイ捨てをしないとか当然と思っているはずなので、その思いを友達みんなに伝えて、みんなで地球を守ろうと誘っていかねばいけないと思います。

リー ツェー ツェン（中 国）

私の理想の地球は、朝起きたらまず周りのゴミを拾います。みんなが有害物質を捨てなければ、地球はきれいになると思います。



ラッタパット・タポン (タイ)

こちらに描いてある絵はこの地球がずっとこのように美しくあるように、自然がずっと続きますよ
うという風に描いてあり、一つ一つの葉っぱに描かれているのはタイのカオヤイ自然公園やタイの
南部とか北部とかすべてタイの自然を描いたものです。この自然がずっと続きますように。私はこの
絵が大好きです。この自然を続かせるために私も植物を植えていきたいと思います。心を込めて植物
を植えていきたいと思います。

大坪 玲奈 (日本)

私がしたいことはゴミをきちんと捨てることです。そして、ゴミを分別してリサイクルをきちんと
することです。そうすれば毎日すっきりとした気持ちで過ごせるとと思います。



岡部 達美 (日本)

将来沢山の自然を残すことと森を残すことです。そのために、私が今やれると思うことは、一ヶ月
に一度でもいいから花や木などの植物を植えることです。

成田 佳奈香 (日本)

みんながハッピーで幸せになれたらいいなと思いました。そのために、私は毎日家で電気の節電を
しようと思います。それで自然の光で家族団らんを楽しみたいと思います。私の家では、朝はリビン
グが太陽の光で明るいので電気を消しています。その自然の光を使って、周りに溶け込む太陽の光で
家族団らんを楽しんでいます。このように自然の力を利用して家族で幸せになりながら電気を節電し
て地球にも優しくしたいと思います。



M. エンフバト (モンゴル)

私の描いた絵はこちらです。私は自然を大切にしたいという考えで、そのために自然に有害物を捨てないでとみんなに伝えたいです。

佐藤 綾桂 (日 本)

私は自然が溢れる地球がいいなと思いました。そのためには、ゴミに気づいてゴミをどうするか考えて実行するとゴミが減ると思いました。



ヨン・ツイ・ウェン・クリスティン (シンガポール)

地球を守るためには、地球の温暖化を防ぐことがとても大切なことだと私は思っています。木を増やすこと。それから使うだけの電気を使うこと。それから3Rというのがあるんですけど、リデュース・リサイクル・リユース、減らすこと・リサイクルすること・再使用すること。それを実行していきたいと思っています。

高橋 佳也 (日 本)

動物や植物などいろいろな生き物がたくさんいる地球になってほしいです。そのためにどんなものでも使いすぎず、地球に優しい物を使いたいと思います。

■「こどもアジェンダ21」宣言書

【私の笑顔はみんなの笑顔。みんなの笑顔は地球の笑顔。
みんなの笑顔で地球を救おう！】



代表として吉田剛樹くん（日本）が、「こどもアジェンダ21」を記入



代表として河合寿也くん（日本）が、環境省田村義雄事務次官に宣言書を提出